

## 情報通信審議会 情報通信技術分科会

### 電波利用環境委員会 CISPR I 作業班(第 13 回)

#### 議事要旨

1 開催日時：令和 4 年 9 月 12 日（月）13:00～14:20

2 開催場所：Web 会議開催 (Cisco Webex)

3 出席者（敬称略）

【構成員】秋山主任 (NTT-AT)、堀主任代理 (SONY)、雨宮構成員 (VCCI)、伊藤構成員 (NHK)、長部構成員 (VCCI)、加藤構成員 (REEA)、川脇構成員 (JBMIA)、塩山構成員 (TBS ラジオ)、曾根構成員 (東北大学)、千代島構成員 (JEITA)、中村構成員 (パナソニック)、永野構成員 (EMCC)、乗本構成員 (KEC)、星野構成員 (CIAJ)、前田構成員 (NTT ドコモ)、牧本構成員 (JQA)、松本構成員 (NICT)、村上構成員 (JET)

【関係者】島先関係者 (VCCI)

【事務局】総務省：島田電波利用環境専門官、伊藤電波監視官、下谷電磁障害係長、木村官

#### 4 議事概要

##### (1) CISPR I 小委員会 WG 等 国際会議審議結果

秋山主任より資料 13-1 に基づき説明が行われた。

##### (2) CISPR サンフランシスコ会議 対処方針(案)について

秋山主任より資料 13-2-1 に基づき説明が行われ、以下の質疑応答があった。

雨宮構成員：項目 7.3 に関連して、CISPR 35 の AnnexG 改訂のために作られた TF において TF のメンバーに説明しても理解してもらえない案件があり、サンフランシスコ会議で議論していただきたい。電波暗室の中で放射電磁界の測定を行う際、例えば電話機に電磁界が加わった時、受話器から 1kHz の音声が入ってそれを測るのはご承知のとおりかと思う。ところが、送話回路で以て復調されて、相手の電話機から出力されてしまう雑音電圧も測らなければならないはずだが、それが理解してもらえず、今回の CDV でも削除されている。この点についてサンフランシスコ会議でコメントしていただきたい。

星野構成員：本件については以前、雨宮氏から依頼を受け、CIAJ から文書を出していたが、そこから一向に理解してもらえていないということか。

雨宮構成員：TF 内の自分以外の 3 人は理解していない。現在、MT8 のエキスパートに照会がかかっているため、日本のエキスパートからは何かアクションを起こさないと

いけない。

星野構成員 : CIAJ 内で共有してコメントしたい。

堀主任代理 : 補足だが、I 小委員会の中で MT8 を議論しないわけではない。MT8 の単独会合が 11 月にあるかと思うが、今月まで行われてる議論を受けて、技術コメントがあれば 10 月に複数回オンラインでミーティングを行う。その結果、CDV を IEC 中央事務局に送ってよいということになれば該当のサンフランシスコでの MT8 が開催されないが、今はまだ何も決まっていない。

雨宮構成員 : 承知した。

次に、WG1 について千代島構成員より資料 13-2-2 に基づき説明が行われた。

続いて、WG2 について牧本構成員より資料 13-2-3 に基づき説明が行われた。

最後に、JAHG6 について長部構成員より資料 13-2-4 に基づき説明が行われ、以下の質疑応答があった。

秋山主任 : CISPR 16-2-3 の改訂が進んでいないのはなぜか。

長部構成員 : CISPR 16-1-4 が 3rd CD まで進んでおり、そちらを優先している。

### (3) 電波利用環境委員会 報告書(案)について

秋山主任より資料 13-3-1 及び 13-3-2 に基づき説明が行われ、千代島構成員から以下の補足があった。

千代島構成員 : 資料 13-3-1 の 2 ページの 4) 対処方針について、700 件を超えるコメントがある旨の記載があったが、正確には 698 件である。

秋山主任 : 約 700 件もしくは 700 件程度と記載するよう修正する。

### (4) CISPR 会議 出席者(案)について

秋山主任より資料 13-4 に基づき説明が行われた。

### (5) その他

特段意見なし。

以上